

【翻訳作業】

字幕が合わないのはどうして？

目次

【 1 】 私が使っているソフト	2
CANVASs NetSSTG1	
Wondershare UniConverter 13	
【 2 】 原因を考えよう	
● フレームレートが間違っている	3
そもそもフレームレートとは何なのか	
どこで確認できるのか	
● 設定が間違っている	6
はじめの設定方法	
srtに出力前の設定	
(23.98フレームの場合)	
【 3 】 本当にどうしようもないときは	8
システムに連絡する	
お客様に謝罪	

今回の説明で使用するソフト

字幕制作ソフト CANVASs NetSSTG1

動画ソフト Wondershare UniConverter 13

原因①【フレームレートが間違っている】

そもそもフレームレート(fps)とは

「frames per second」の略で、1秒間に何枚の画像が表示されているかを示すの単位。

24fps、30fps、60fps、120fpsなど色々種類があり、例えば24fpsは「1秒間に24フレームで構成されている」ことになります。

フレームレートが高くなれば、その分容量が重くなり、ざっくり分けると、24fpsは映画、29.97fpsは地上波テレビ、30fpsはYouTube…というような使い分けがされているようです。

これを間違えていると、字幕のタイミングが合わなくなるので注意が必要です。

フレームレートの確認方法

二つ方法があります。

- ・プロパティをチェック
- ・直接お客様に聞く

普通であれば、「プロパティをチェック」のみで大丈夫です。

ご依頼を受けるときは必ず両方とも行ってください。

